



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 松本 清一郎
 (氏名) 小松原 達也
 TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,173	23.5	407	544.1	392	437.8	314	734.9
2022年3月期第1四半期	2,569	0.8	63		72		37	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	14.43	
2022年3月期第1四半期	1.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,842	11,219	53.8
2022年3月期	21,172	11,004	52.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,219百万円 2022年3月期 11,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		4.00	4.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	5.2	640	54.7	610	53.4	390	57.2	17.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	21,974,000 株	2022年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	149,140 株	2022年3月期	149,140 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	21,824,860 株	2022年3月期1Q	21,825,576 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、一進一退が続く新型コロナウイルスの感染症拡大は、引き続き予断を許さない状況が続いておりますが、経済活動は段階的に回復へと向かっております。しかしながら、原燃料の高騰、円安の進行、地政学リスクの高まり等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

化学工業におきましても、景況感は回復基調にあるものの、ウクライナ情勢の緊迫化、エネルギー価格の高騰、金融施策・為替相場の動向等、経済活動に大きな影響を及ぼしかねない状況下であるため、引き続き十分注視していくことが重要であると考えております。

こうした状況下、当社は外部環境の変化に迅速かつ的確に対応し、製品の安定供給に努めることが社会的使命であるとの認識のもと、重要課題を克服・解決しながら、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比23.5%増の3,173百万円と増収となり、製品の販売構成に起因した粗利益の増加等を主因として、利益面におきましても各段階利益とも前年同四半期と比べ増加し、営業利益407百万円、経常利益392百万円、四半期純利益314百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。(単位：百万円)

製品区分	2022年3月期第1四半期累計期間				2023年3月期第1四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	234	732	966	37.6	277	920	1,198	37.7
化成品関係	556	181	737	28.7	872	205	1,078	34.0
医薬品関係	345	519	865	33.7	720	176	896	28.3
合計	1,136	1,433	2,569	100.0	1,870	1,303	3,173	100.0
構成比(%)	44.2	55.8	100.0		58.9	41.1	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

医薬用途、及び食品・サプリメント用途の販売が好調であったことから、売上高は1,198百万円と、前年同四半期に比べ231百万円(24.0%)の増収となりました。

(化成品関係)

特殊触媒、農薬中間体、医薬関連原料等の販売が増加したことにより、売上高は1,078百万円と、前年同四半期に比べ340百万円(46.2%)の増収となりました。

(医薬品関係)

原薬中間体の販売が減少したものの、原薬の販売が増加したことから、売上高は896百万円と、前年同四半期に比べ31百万円(3.7%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から225百万円減少し、10,136百万円となりました。これは主に、製品の増加と、現金及び預金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から104百万円減少し、10,705百万円となりました。これは主に、建物、建設仮勘定、投資有価証券の減少によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から517百万円減少し、6,451百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から27百万円減少し、3,171百万円となりました。これは主に、退職給付引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から214百万円増加し、11,219百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点における当社の2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月16日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856	1,520
受取手形及び売掛金	2,764	2,612
製品	3,379	3,564
仕掛品	414	413
原材料	1,552	1,599
その他	396	426
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,362	10,136
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,277	2,247
機械及び装置（純額）	1,863	1,884
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	66	41
その他（純額）	1,205	1,188
有形固定資産合計	8,523	8,472
無形固定資産	216	212
投資その他の資産		
投資有価証券	1,506	1,494
その他	563	525
投資その他の資産合計	2,070	2,020
固定資産合計	10,810	10,705
資産合計	21,172	20,842
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913	1,851
電子記録債務	322	349
短期借入金	3,500	3,000
1年内返済予定の長期借入金	379	379
未払法人税等	50	72
賞与引当金	168	73
設備関係電子記録債務	44	139
その他	591	586
流動負債合計	6,969	6,451
固定負債		
長期借入金	1,164	1,164
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	1,099	1,088
資産除去債務	14	14
その他	319	302
固定負債合計	3,199	3,171
負債合計	10,168	9,622

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,634	3,861
自己株式	△47	△47
株主資本合計	10,307	10,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	528	515
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	696	683
純資産合計	11,004	11,219
負債純資産合計	21,172	20,842

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,569	3,173
売上原価	2,079	2,235
売上総利益	490	938
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	106	108
賞与引当金繰入額	16	16
研究開発費	59	130
その他	244	275
販売費及び一般管理費合計	427	531
営業利益	63	407
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	20
為替差益	0	28
雑収入	8	4
営業外収益合計	25	52
営業外費用		
支払利息	13	11
関税費用	—	53
雑損失	2	2
営業外費用合計	15	67
経常利益	72	392
特別損失		
固定資産除却損	20	15
特別損失合計	20	15
税引前四半期純利益	52	376
法人税等	14	61
四半期純利益	37	314

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」に記載した、会計上の見積り等に際しての新型コロナウイルス感染症の収束時期等の仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は、2022年7月19日開催の取締役会において、製造設備の一部増強に係る設備投資を行うことを決定しました。

1. 設備投資の目的

当社のアミノ酸製品であるグリシンの需要が高まっているため、福島県いわき市の常磐工場にある既存の設備を増強して、増産体制を構築するため設備投資いたします。

2. 設備投資の内容

(1) 所在地 福島県いわき市常磐西郷町落合788(常磐工場敷地内)

(2) 投資金額 約40億円

(3) 設備概要 既存設備(原料タンク、脱イオン水製造設備、遠心分離機、乾燥機、包装設備、クリーンルーム(ISOクラス8)等)の増強

(4) 生産品目 アミノ酸(グリシン)

3. 設備投資の導入時期

(1) 着工予定 2022年7月

(2) 竣工予定 2025年3月

4. 今後の見通し

本設備投資が当期の業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、すみやかにお知らせいたします。